

ハワイ沖縄連合会の役員が佐喜真市長を表敬訪問

3月18日(月)、ハワイの沖縄県系在住者の方々に構成されているハワイ沖縄連合会の役員関係者が本市を訪れました。那覇市小禄出身の日系三世で、昨年、同連合会の会長に就任されたジョージ・パーテルズ氏からは、「8月にはハワイ沖縄フェスティバルがあり、毎年盛大に開催されている。ぜひ佐喜真市長にもハワイに来ていただきたい」とのお話がありました。パーテルズ会長は昨年10月にも本市を訪れており、沖縄県や県内市町村との交流に積極的に活動されています。



市長にもハワイに来ていただきたい」とのお話がありました。パーテルズ会長は昨年10月にも本市を訪れており、沖縄県や県内市町村との交流に積極的に活動されています。

3年間のプログラマーの経験を活かして

3月19日(火)、JICAボランティア派遣事業の「青年海外協力隊」として約2年間、ガーナへ派遣される小原優さんが、佐喜真市長へ出発を報告。今回の活動内容は主に、現地の職業訓練校の生徒に対して各種ソフトウェアの使い方に関する授業の実施や、同僚教諭に対してハードウェアの知識や修理方法を伝授するという事です。小原さんは「自分の技術、知識や経験を開発途上国の人々のために活かすことはまさに私の夢。現地の高校生に技術を教えることが今から楽しみです」と抱負を語りました。



交通安全ホワイトデー作戦



宜野湾地区交通安全協会(桃原嵩会長)・宜野湾警察署(當山彰署長)によるキャンディーの配布が、3月14日(木)に沖縄国際大学前において行われました。これは「交通安全」と「飲酒運転根絶」を目的に行われたもので、当日は嘉数中学校の生徒たちにより、通行するドライバーへ交通安全の願いを込めながら手渡されました。



みんなで緑豊かな宜野湾市を目指して

2月26日(火)、市婦人連合会(平良エミ子会長)が地域の美化に努め、緑豊かで明るい都市づくりを目指すことを目的に、市内や他市町村の環境美化を視察する研修会を行いました。また、視察後には県緑化推進事業である緑の募金を活用し購入した市の花木であるサンダンカの苗を、各地域の婦人会の皆さんに配布し、地域や市内の環境美化を推進していくことを誓いました。平良会長は「様々な地域を視察し、とても勉強になった。これからは地域の方だけでなく、市全体で環境美化に努めていきたい」と語りました。

4回目を迎えた宇地泊の花いっぱい運動



2月26日(火)、大謝名小の5年生約120名と宇地泊区地域支え合い活動委員・同区老人クラブの会員約20名が参加して、宇地泊交差点付近で花植え作業が行われました。昨年の秋頃に種をまいて育てた苗約600鉢を地域の方々と一緒になって植栽帯に植えた子ども達は、「種をまいた時は小さかったけど植えることができ良かった」「交流は初めてで不安だったけど楽しかった」と話していました。植えた苗は春ごろにはアリッサムというピンクや紫、白色の花が開花する予定です。



助け合いの心を持って

2月28日(木)、女性専用フィットネスクラブ「カーブス」宜野湾上原店(宮城有希子店長)がフードドライブ活動の一環として、市社会福祉協議会(當山盛保会長)へ食料品を贈呈しました。フードドライブ活動とは、家庭にある缶詰などの長期保存可能な食料品を集め、地域の社会福祉施設へ寄付する活動のことで、今回贈呈していただいた食料品はお米やインスタント食品などとあわせて107キロにものぼりました。食料品を受け取った社協の仲村渠事務局長は「今年も沢山の食料の寄贈ありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。



野菜が苦手な子も完食です!

3月7日(木)、おひさま保育園児と保護者が参加して『カレーパーティ』が開催されました。カレーパーティで使う野菜は、市食生活改善推員の協力のもと、去年10月から園児らが育て収穫した野菜を使い、慣れない手つきで皮むきや包丁でカットにも挑戦しました。園児の中には野菜が苦手だけど時間をかけて完食した子もいて、自分で育てた野菜のおいしさを味わっていました。また食改によるエプロンシアターやクイズも行われ、野菜に興味深々。保護者の方からは「ベランダで野菜を育てたい」と食わず嫌い改善!に向けて楽しい教室となりました。



ボランティア実践報告会を開催

2月27日(水)、社会福祉センター2階にて、「ボランティア活動推進校およびボランティア団体実践報告会」(市社会福祉協議会主催)が行われました。社協へ登録しているボランティア団体として19の小中高校及び団体が、一年の集大成として活動の報告を行いました。ボランティア活動をしている生徒や会員からは、「役に立ちたいと思ってましたが、自分にプラスになっている」と活動の意義を語りました。



防災行政無線放送が屋外放送後24時間以内において確認できます。☎ 896-2401

中国・廈門市への留学生を募集します!

本市の海外友好都市締結先である中国福建省廈門市の市立大学に1年間留学生を派遣し、国際的視野を持った人材の育成を図ることを目的に留学希望者を募集します。

◇応募資格: 満18歳以上、満40歳以下で、高校卒業以上の学歴を有する者、平成25年4月1日現在において宜野湾市に1年以上住所を有する者、心身ともに健康な者、日本国籍を有する者

左記の条件をすべて満たす者

◇派遣人員: 1名
◇派遣期間: 1年間(平成25年9月~平成26年8月迄)
※出発は8月下旬を予定。



中国・廈門市

廈門理工学院

◇派遣先: 廈門市立廈門理工学院
◇内容: 中国語の習得、中国の歴史・文化を学ぶ
◇留学費用: 大学授業料及び往復旅費の全額、寮費の半額を市が負担
◇募集期間: 4月10日(水)~5月31日(金) 午前8時30分~午後5時15分まで
(土・日曜日、祝祭日は除く)

◇提出書類: 申請書(窓口・市HPにて配布)、住民票抄本(本籍記載)、証明写真(申請書に貼付)、最終学歴の卒業証明書または卒業証書(写)。留学決定者は、誓約書・健康診断書・履歴書

◇提出先: 市民協働推進課 平和・男女共同係
◇選考試験: 6月2日(日)<作文及び面接試験>
◇結果発表: 6月下旬<受験者へ通知>
※募集要項等の詳細についてはHPにてご確認頂けます。

お申込み・お問合せ窓口
市民協働推進課 平和・男女共同係
☎893-4411(内線423)